



# 地方公務員共済組合連合会

(地方公務員関係共済組合職員共同採用試験実施組合)

## 2027年度 職員採用案内



# 組織・事業概要

## 地方公務員共済組合の事業運営を支えるために設立された連合組織

地方公務員共済組合連合会は、地方公務員の年金制度の健全な運営を維持していくため、地方公務員共済組合が行う年金制度に係る事業の適正かつ円滑な運営を図ることを目的として1984年(昭和59年)に設立されました。当連合会は、すべての地方公務員共済組合と全国市町村職員共済組合連合会をもって組織する連合組織です。



## 連合組織ならではの多様な事業

当連合会は、設立の目的を達成するため、様々な特色ある事業を行っています。

### 年金積立金の管理・運用

共済組合の年金給付の資金が不足した場合に備え、年金資金を積立て、運用を行っています。また、共済組合全体の年金積立金の運用が適切に行われているかの管理を行っています。

### 技術的及び専門的知識、資料等の提供

年金制度に係る事業を実施するため、年金計算を行うシステム等を開発し、共済組合に提供しています。また、共済組合に向けて、各種研修会の開催、各種広報、資料等の提供を行っています。

### 厚生年金拠出金・交付金に関すること、基礎年金拠出金の納付

共済組合が負担する拠出金を集約し、まとめて厚生労働省に拠出しています。また、共済組合が交付を受ける交付金を厚生労働省から一括して受け取り、それぞれの共済組合に交付しています。

### 付与率・基準利率、保険料率等の算定

地方公務員が加入する年金払い退職給付制度について、年金額を算定する率や保険料率等を算定しています。また、年金払い退職給付制度の運営に当たって財政検証及び財政再計算を行っています。

### 年金から特別徴収した介護保険料等の納入

共済組合が年金から特別徴収した介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び個人住民税を集約し、市町村に納付しています。

### マイナンバー制度における年金関係の情報連携

共済組合の年金給付事業におけるマイナンバーの利用にあたり、マイナンバー制度を活用した情報連携を円滑に実施するためのシステムを開発し、運営を行っています。

## 様々なバックグラウンドを持つ人材が集まる組織体制

当連合会には、新規で採用した職員だけでなく、国、共済組合や民間企業からの出向者も多く在籍しています。職員数は約90名ほどですが、様々なバックグラウンドを持つ職員がいる環境は設立当初から変わりません。専門知識を持つ職員と共に仕事ができることは得るものも多く、この特徴ある環境も当連合会の魅力の一つです。

# 当連合会の中核をなす3つの事業

様々な特色ある事業の中でも、当連合会の中核をなす3つの事業についてご紹介します。

## 01 年金積立金の管理・運用

### 共済組合の年金給付に係るセーフティネット

当連合会では、共済組合の年金給付事業が円滑に行われるよう、年金積立金を積み立てて管理運用し、各共済組合において年金給付のための資金が不足した場合に、必要な額を共済組合に交付しています。

そのため、各共済組合から年金資金の一部の払い込みを受けて、積立金の資金規模を大きくした上で、国内外の債券市場及び株式市場において運用を行い、共済組合への資金交付に備えています。このように、地方公務員の皆さまへ安定的に年金を支給できる仕組みとなっています。



### 長期的な観点からの安全かつ効率的な運用

運用の収益は、短期間でみると大きく変動することがありますが、長期間でみると資産を分散することで、安定したパフォーマンスを獲得できる傾向があります。

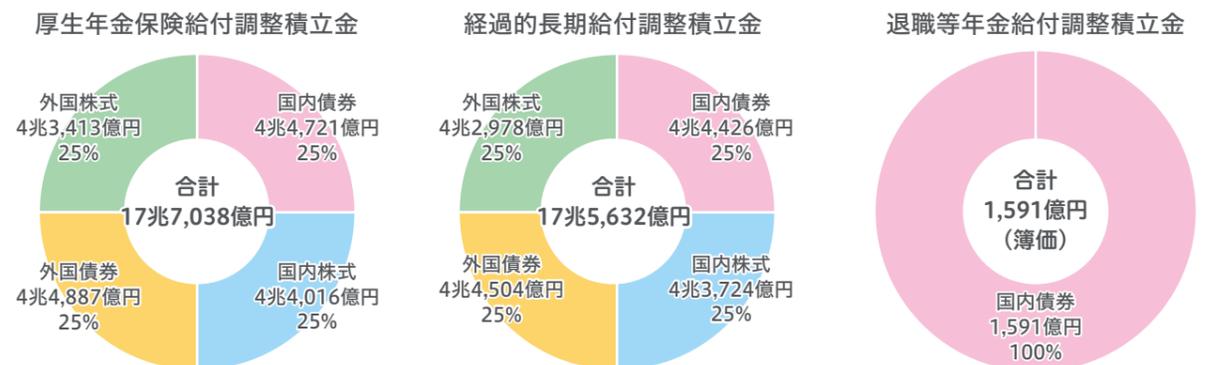
このことから、年金積立金の管理及び運用については、管理及び運用の基本的ルールとなる基本方針を定め、それに基づいて長期的な観点から安全かつ効率的な運用を行っています。

### 投資活動を通じた市場全体の成長

当連合会は、地方公務員の皆さまからお預かりした約35兆円(令和6年度末時点、時価)の資金を運用する世界でも有数な機関投資家です。

近年、投資活動を通じて市場全体の持続的な成長を促すことが長期的な収益につながるという考え方が注目されていますが、当連合会は、非財務情報を考慮したESG投資(E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス))に早くから取り組んでいます。

### 年金積立金の資産額と資産構成割合



## 02 年金払い退職給付制度の財政検証・財政再計算

### ■ 独自の巨大年金制度

地方公務員共済組合の組合員である地方公務員の皆さまが加入する年金制度には、厚生年金保険のほか、独自の制度として、年金払い退職給付制度があります。

年金払い退職給付制度は、現役で組合員約295万人(令和6年度末時点)が加入する巨大な年金制度です。当連合会では、年金払い退職給付制度を長期にわたり安定的に運営するための年金数理業務を行っています。

### ■ 制度を支える年金数理業務

年金払い退職給付制度は、組合員及び地方公共団体が納めた保険料を積み立て、その元利合計を財源にして年金給付を受け取るといった事前積立方式による制度です。

そのため、組合員が将来受け取られる年金給付に必要な積立金が適切に積み立てられているかを定期的にチェックする必要があります。

当連合会は、将来年金受給者となって受け取られる年金給付額と収入の見込から積み立てておくべき金額を算定し、実際の積立金と比較することで、制度の財政状況を毎年チェックしています。これを「財政検証」といいます。

また、組合員及び地方公共団体が納める保険料の計算に用いる保険料率は、今後の年金給付額や標準報酬月額等の見込をもとに定めています。この保険料率を算定したときの見込と実際の年金給付額や標準報酬月額等は、時間の経過とともに徐々にずれが生じる可能性があります。そのため、当連合会では、定期的にそのずれを補正するために保険料率を見直す作業を行っています。これを「財政再計算」といいます。

### ■ 年金制度の安定的運営への貢献

財政検証と財政再計算は、年金払い退職給付制度を将来にわたり安定的に運営するために不可欠な業務です。

当連合会は、これらの年金数理に基づいた事業運営により組合員である地方公務員の皆さまの将来の生活の安定に貢献しています。

#### 事前積立方式と賦課方式

事前積立方式とは



将来自分が年金を受給するときに必要な財源を、現役時代の間積み立てておく方式です。

賦課方式とは



年金支給のために必要な財源を、その時々保険料収入から用意する方式です。厚生年金と国民年金は賦課方式です。

※保険料は労使折半です。

## 03 年金システム等の開発・提供

### ■ 地方公務員の年金と当連合会の役割

地方公務員の皆さまの老後の生活を支える年金制度は、法律や制度改正により年々複雑化しています。当連合会は、共済組合が法令に基づき適正かつ円滑に年金給付事業(年金の決定・支給)を行えるよう、複雑化した年金制度に対応した年金システムの開発等を行っています。

また、マイナポータルを介した年金情報の提供や年金請求の手続き書類の簡素化を図るためのシステム開発も行っています。

### ■ 年金システム開発の変遷

当連合会は、1986年(昭和61年)に地方公務員共済年金制度が抜本的に改正されることを契機に、年金システムの開発・提供事業を開始しました。

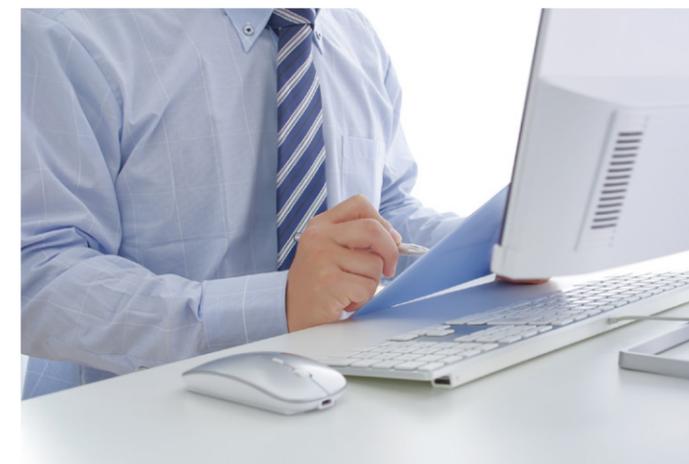
それぞれの共済組合が年金システムを設計・開発するには、相当な労力と経費を要することになります。そのため、共済組合の連合組織である当連合会が、地方公務員の年金給付事業に利用するための標準的なシステムを開発し、1986年(昭和61年)12月に共済組合に提供したのがこの事業の始まりです。

今日では、年金システムだけでなく、マイナポータルを介した年金情報の提供や年金請求のワンストップサービスなど、公的年金制度を取り巻く新たな仕組みに共済組合が対応できるシステムを開発・提供して、共済組合が適正かつ円滑な年金給付事業を実施できるよう、サポートしています。

### ■ 公共性の高い制度への貢献

地方公務員共済年金制度は、公的年金制度の一つとして位置づけられており、全体の奉仕者として地方公共団体の仕事に従事する地方公務員の皆さまの将来の生活の安定に寄与するために法令で定められた公共性の高い福利厚生制度の一つです。

当連合会は、この制度の実施主体である共済組合へ年金システムを提供することにより、地方公務員共済年金制度の運営の一翼を担っています。



# 当連合会で働く職員からのメッセージ



令和6年4月採用  
**K.S**

令和6年4月 年金業務部番号システム課

## 日々の仕事

私の所属している番号システム課では、主に、マイナンバーを利用して地方公共団体等と年金関係の情報連携を行うためのシステムの開発・運営を行っています。

私は、システムの機能・仕様に関する共済組合からの照会に対する回答や、システムの機能改善及びシステム利用マニュアルの整備を行い、システムの利便性の向上に日々努めています。

また、マイナンバー制度を所管する省庁との連絡や調整を行い、法令改正等に伴うシステム改修の対応にも従事しています。

## 一日の流れ

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
出勤、スケジュールの確認	議事録の確認	委託先とのシステム開発指示等	昼食	定例打合せ
14:00	15:00	17:00	17:45	
所管省庁からの照会システム連携及び回答	打合せ	業務の確認	退勤	

## 採用時の志望動機

私は以前、地元の市役所で医療関係の部署で働いており、引き続き社会保障分野に関する仕事に就きたいという思いから、公的機関を中心に転職活動を進めていました。

初めは医療関係の団体を中心に探しておりましたが、その中で地方公務員共済組合の存在を知り、興味を持ちました。年金に関する知識は乏しかったのですが、当時の自分自身を含めた全国の地方公務員、そしてその家族の生活を支えることができるというやりがいを感じたため、共同採用試験に応募することにしました。

## やりがい・2年間働いてみて

年金業務部番号システム課に配属後は、年金制度の仕組みをはじめ、マイナンバーやシステムの役割とは何か、といった初歩的な部分から学び始めました。当時は年金制度やシステムの知識が今より少なかったため、初めは苦労しました。採用から2年が経ち、実際まだ分からないことも多いのですが、疑問点については以前より効率よく解決できるようになったと感じます。

また、年金業務部にはシステムに精通する専門員や知識と経験豊富な上司・先輩職員が多くいらっしゃるため、都度アドバイスやサポートをいただきながら仕事をすることができています。配属後には関連団体で実施される年金制度等についての初任者向け研修にも参加できるため、学びの機会も多いです。

また、前職と比べると取り扱う業務の規模が金額も影響範囲もとても大きいものとなりました。そのような重要な仕事を任せただけにやりがいを感じています。



平成25年10月採用  
**S.T**

平成25年10月 年金業務部数理課

## 日々の仕事

私が所属する数理課では、主に、公務員の方が加入する年金払い退職給付制度に係る「財政検証」や少なくとも5年に1度実施することとされている「財政再計算」を国家公務員共済組合連合会と連携して実施しています。

財政検証の実施にあたっては、もととなるデータの正確性を確認するための知識、作成した基礎資料内容を分析するためのスキルが必要であり、それらの技術の習熟に日々努めています。

## 一日の流れ

8:15	9:00	10:00	11:00	12:00
出勤、スケジュールの確認	資料作成	打ち合わせ	照会対応	昼食
13:00	14:00	16:00	17:00	
照会対応	決裁の資料作成	資料整理	退勤	

## 当連合会の魅力

年金払い退職給付制度に加入している組合員数は約295万人であり、これは民間の保険加入者数などは比較にならない非常に大きな年金制度です。数理課では、この大規模な人数のデータを集めて財政検証作業を実施しており、そこに一般的な企業では経験することができない面白さと魅力があります。

業務にあたっては、数理的な知識の他にも、自分が生まれるよりも前の年金制度の知識や、最近の公務員数の動向の知識などの勉強を日々積み重ねていかなければならず、毎年作成する統計資料の数字や経年変化などの意味するところが理解できるようになるまでが大変ですが、山を1つ越えるごとに奥深さと面白さが分かるようになり、充実感をもって働くことができます。

## 職場の雰囲気

当連合会は、勤務の時間帯を選択できる制度を導入しており、職員の裁量で選択することができます。また、休暇が取得しやすい環境であり、プライベートの時間を確保しやすい職場であると思います。数理課では、これらの制度を上手に使うために、1年間の予定を立てて、業務を遺漏なく進められるように職場の仲間と連携しております。

加えて、当連合会では資格取得の助成制度が整備されております。私は大学・大学院共に理系の分野を専攻していましたが、数理課の業務に活用する専門的な知識は、こうした資格取得向けの学習によって培うことが効率的であるため、積極的に取り組んでいます。

主体的に自分の業務に取組める積極的な人が多い職場ですので、日々、刺激を受けながら職務に励んでいます。



平成29年4月採用  
**W.Y**

平成29年4月 総務部総務課  
平成30年4月 年金業務部数理課  
令和元年8月 総務部企画課  
令和2年4月 年金業務部調整課  
令和4年4月 年金業務部数理課  
令和7年4月 資金運用部リスク管理課

## 日々の仕事

私の所属しているリスク管理課は、当連合会が管理・運用する年金積立金と地方公務員共済組合全体の年金積立金の各リスク指標の状況をモニタリングする業務を行っています。私は、そのモニタリング結果を会議などで報告する資料作成を担当していて、資料作りでは、なぜ各リスク指標が変動したのかを分析するだけでなく、正しく分かりやすく報告するためにはどうするかを目標に取り組んでいます。

その他にも、政府が掲げた国家の運用力強化に関連した新たな取組として、リスク管理システムへ新機能をトライアル追加し、追加機能を用いてテストレポートを作成しました。

## 一日の流れ

8:45	9:30	10:30	12:00	13:00	15:00	17:00	17:30
出勤、スケジュールの確認	課内打合せ	運用機関との打合せ	昼食	リスク分析資料の作成	システム業者との打合せ	資料作成	退勤

## 当連合会の魅力

当連合会は、短期的な利益を追い求めるのではなく、数十年先を見据えた長期運用により日本の将来世代のために最適なリターンを追求するアセットオーナーです。私たちに世界市場や経済動向を注視しながらその裏にあるリスクを適切に判断することが求められています。このような「社会的使命」と「専門性の高さ」は、他の環境にはない当連合会最大の魅力であると感じています。

また、常に慎重な判断が求められる緊張感がある一方で、チームで議論し、組織として意思決定するという文化が根付いており、個人に過度な責任が集中することはありません。わからないことがあっても上司や先輩方は優しく丁寧に教えてくれるので、安心して業務に取り組むことができます。このような相談しやすい環境、穏やかな雰囲気も当連合会の魅力の一つだと思います。

## やりがい

私は職員の中でも人事異動が多い方だと思います。異動する度に新しい業務を覚えるのは大変ですが、どの部署でも大きなプロジェクト完遂時は大きな達成感があります。

例えば、総務課ではオフィスのレイアウト変更を担当しました。各部署の要望を調整しつつ新たなレイアウト図を完成させ、その図面通りに机や什器が運び込まれる光景を見た時は感無量でした。

数理課では、「年金払い退職給付制度」という新たな年金制度の仕事を担当しました。年金積立金の剰余分析をする「財政検証」や、5年ごとに保険料の率の計算を行う「財政再計算」の業務に携わり、扱うデータ量の多さと計算の複雑さに驚きました。

そして現在の資金運用部ではまた新たな分野の業務を担当しており、今後は更に大きなプロジェクトの仕事も任せてもらえるよう頑張りたいと思います。



令和7年4月採用  
**M.T**

令和7年4月 総務部総務課

## 日々の仕事

私が所属する総務課は、総務係、人事係、経理係、情報セキュリティ係の4つの係があり、私はその中の総務係を担当しています。総務係では、人事関係事務、職員給与や旅費の支給、物品購入や事務機器リース料などの業務上の経費の支払、職員住宅の契約、執務環境改善のための業務、共同採用試験の運営などを行っています。例えば毎月の給与計算では、正確に支給額を算定する以外にも税額や保険料にも誤りがないかなど、担当する業務において慎重に確認するよう努めています。また職員に対し、健康診断や人間ドックの受診、有給休暇の積極的な取得促進といった職員の働き方を支えることにも取り組んでいます。

## 一日の流れ

8:45	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	17:00	17:30
出勤、スケジュールの確認	前日の作成した資料の決裁の支払と回付	衛生委員会の夏季特別休暇取得状況の発表準備	昼食	衛生委員会に出席	旅費に関する決裁資料の作成	業務内容の確認	退勤

## 採用時の志望動機

私は、誰かを支える公的な仕事をしたいと考えていました。地方自治体や独立行政法人での就職も視野に入れていましたが、就職活動をしていく中で地方公務員関係共済組合の共同採用試験を知り、地域住民のために働く地方公務員の皆様を、間接的に支えることができる点に魅力を感じました。

また、当連合会の事務所訪問に参加し、採用試験を受ける中で、先輩職員の方たちとお話する機会がありました。その際に、些細な事でも先輩や上司に相談しやすい雰囲気があり、部署を超えてのコミュニケーションも取りやすく、働きやすい職場であると知り、当連合会を志望しました。

## やりがい・1年間働いてみて

最初は知識がゼロからのスタートで不安と緊張でいっぱいでしたが、周りの先輩職員の方たちが優しく教えてくださるため、1年間やりきることができました。また、4月と10月には共同採用試験で採用された他の共済組合の職員と合同で行う研修があり、仕事に関する知識を学ぶとともに、同期と親睦を深めることができました。

総務係の業務としては、シュレッダーの更新対応が印象に残っています。リース会社との契約内容のチェックや、機器の入替作業の日程調整など、先輩方と協力しながら無事に新しい機種を導入することができました。また、給与の支給や請求を受けた経費の支払いは、期限に間に合うか、金額に誤りがないか緊張感があり毎月油断できませんが、無事に給与が支給され、遅延なく作業が完了できた時はとても達成感があります。

## ■ 給与・勤務条件

### 01 給与

初任給:285,120円(給料月額 237,600円+地域手当 47,520円)

国家公務員の「一般職の職員の給与に関する法律」に準じて支給されます。このほか、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末・勤労手当(ボーナス)等が支給されます。

### 02 休日・休暇・休業

休日:土曜日、日曜日及び祝日並びに年末年始(12月29日から1月3日までの間)

特別休暇:夏季休暇、産前産後休暇(産前6週間、産後8週間)、小学校3年生までの子の看護等休暇(病気の世話や予防接種、入園・入学式など)、生後1年に満たない子の保育時間、結婚休暇、配偶者の出産のための休暇、忌引き、ボランティア休暇など

※このほか、育児休業、介護休暇、病気休暇などがあります。

### 03 有給休暇

採用時に15日の有給休暇が付与されます。(翌年からは20日。) ※2024年度の平均取得日数は約14日です。

### 04 勤務時間

勤務時間は次の5パターンから選択できます。

①午前8時15分から午後5時00分まで ②午前8時45分から午後5時30分まで ③午前9時00分から午後5時45分まで

④午前9時30分から午後6時15分まで ⑤午前10時00分から午後6時45分まで

※休憩時間は1時間で、午前11時30分から・正午から・午後12時30分からのいずれかで選択が可能です。

### 05 研修制度

採用後、1週間程度、共同採用試験を実施した他の組合・連合会の新規採用職員と合同で日常業務に必要な知識やマナーに関する研修を実施します。また、採用から半年経過後には、フォローアップ研修も実施します。その他、配属先の業務に応じた専門研修や市町村職員中央研修所等による外部研修の受講機会があります。

### 06 資格取得

各種資格の取得等を通じ職員の資質の向上を図り、人材育成を行うため、資格取得に要した費用(講習の受講料やテキスト代等)の一部を助成します。具体的には、アクチュアリー、証券アナリスト、年金アドバイザー、社会保険労務士、簿記、情報処理技術者、衛生管理者などが対象となります。

### 07 職員住宅

当連合会による借上げ制度があります。

## ■ 職場環境

90名程度の職員のうち女性の割合は2割強となっています。また、文系だけでなく理系出身者も在籍している職場です。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、国家公務員と同様に、子どもが小学校就学までの間、勤務時間を短縮できる制度や、妊娠・出産・育児・介護のために利用できる両立支援制度があります。勤務時間は5パターンから選択でき、テレワーク勤務制度もあるため、柔軟な働き方が可能な環境が整っています。

人事交流により都内の他の共済組合で勤務することもあります。地方への転勤はありません。基本的には東京都千代田区の当連合会の事務所での勤務となります。

当連合会が入居するオフィスビルは、地下鉄の霞ヶ関駅と内幸町駅の2駅と直結しており、通勤に大変便利です。ビルの地下には飲食店も多く入居していますので、ランチに不自由することはありません。ビルから一歩外に出れば、目の前には日比谷公園があり、休憩時間に公園まで足を延ばしてリフレッシュすることもできます。

## ACCESS

### 最寄り駅からの所要時間

東京メトロ日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅:C4出口直結/C3出口 徒歩1分

東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関」駅:B2出口 徒歩5分

都営地下鉄三田線「内幸町」駅:A6出口より日比谷シティ経由で徒歩6分

東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅:1,9,10番出口 徒歩3分

JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、

ゆりかもめ「新橋」駅:徒歩10分

### 所在地

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング11階

TEL:03-6807-3677 FAX:03-6807-3693・3694

URL <https://www.chikyoren.or.jp/>

採用情報

